

# UBS ゴールド・ファンド (為替ヘッジあり)

\*当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型／海外／その他資産（商品）／インデックス型	
設定日	2020年11月27日	
信託期間	2020年11月27日から2023年1月16日まで	
運用方針	この投資信託は、主として上場投資信託証券への投資を通じて、金地金に実質的に投資を行い、ロンドン貴金属市場協会（LBMA）金地金価格（円ヘッジ、円換算ベース）の騰落率に概ね連動する投資成果を目指して運用を行います。なお、実質的な外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行います。	
主な投資対象	スイス籍外国投資信託 UBS ETF (CH) ゴールド (USD)	金地金への投資を通じて、ロンドン貴金属市場協会（LBMA）金地金価格（米ドルベース）に概ね連動する投資成果を目指します。
	UBS短期円金利プラス・ファンド（適格機関投資家向け）	わが国のコマーシャル・ペーパーを含む短期金融商品および内外の円建ての公社債を実質的な主たる投資対象とし、円短期金利を上回る信託財産の安定的な成長を目指して運用を行います。
主な投資制限	<p>①投資信託証券への投資割合には制限を設けません。</p> <p>②株式への直接投資は行いません。</p> <p>③外貨建資産への投資割合には制限を設けません。</p> <p>④デリバティブ取引の直接利用は行いません。ただし、指定上場投資信託においてはデリバティブ取引（法人税法第61条の5に定めるものをいいます。）を行う場合があります。その場合は、価格変動、金利変動および為替変動により生じるリスクを減じる目的ならびに投資対象とする資産を保有した場合と同様の損益を実現する目的以外には利用しません。</p> <p>⑤同一銘柄の投資信託証券への投資割合には制限を設けません。ただし、当該投資信託証券が一般社団法人投資信託協会の規則に定めるエクスポージャーがリスクスルーできる場合に該当しないときには、当該投資信託証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。</p> <p>⑥一般社団法人投資信託協会規則に定める一者に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則として、それぞれ10%、合計で20%以内とすることとし、当該比率を超えることとなった場合には、一般社団法人投資信託協会規則に従い当該比率以内となるよう調整を行うこととします。</p>	
分配方針	<p>毎決算時（原則毎年9月5日。ただし、休業日の場合は翌営業日とします。）に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。</p> <p>①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。</p> <p>②収益分配金額は、上記①の範囲内で、市況動向等を勘案して委託者が決定します。ただし、委託者の判断で、分配を行わないことがあります。</p> <p>③収益の分配にあてなかった利益については、運用の基本方針に基づいて元本部分と同一の運用を行います。</p>	

償還運用報告書（全体版）

償還日 2023年1月16日

## 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「UBSゴールド・ファンド（為替ヘッジあり）」は、2023年1月16日をもって信託約款の規定に基づき償還させていただきますので、ここに謹んで設定以来の運用状況と償還の内容をご報告申し上げます。

当ファンドをご愛顧いただきましたことに対して、厚く御礼申し上げます。

## UBSアセット・マネジメント株式会社

東京都千代田区大手町一丁目2番1号

Otemachi Oneタワー

<お問い合わせ先>

投信営業部

03-5293-3700

<受付時間>

営業日の午前9時～午後5時、土、日、祝日除く

<http://www.ubs.com/japanfunds>

© UBS 2023. キーシボル及びUBSの各標章は、UBSの登録又は未登録商標です。UBSは全ての権利を留保します。

## 設定以来の運用実績

決算期	基準価額	税込 分配金	期 騰落率	ベンチマーク ロンドン貴金属 市場協会 (LBMA) 金地金価格 (円ヘッジ、 円換算ベース)	期 騰落率	投資信託 証券組 比率	純資 産額
(設定日) 2020年11月27日	円 10,000	円 -	% -	10,000	% -	% -	百万円 110
1期 (2021年9月 6日)	10,135	0	1.4	10,007	0.1	98.3	204
2期 (2022年9月 5日)	9,375	0	△7.5	9,297	△7.1	100.8	314
(償還時) 3期 (2023年1月16日)	(償還価額) 9,889.83		5.5	10,113	8.8	-	154

(注1) 基準価額は1万口当たり。

(注2) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注3) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注4) ロンドン貴金属市場協会 (LBMA) 金地金価格 (円ヘッジ、円換算ベース) は、ロンドン貴金属市場協会 (LBMA) 金地金価格 (米ドルベース) に基づき、委託会社において円ヘッジし円換算したものです。ベンチマークは設定日を10,000として指数化。

(注5) 投資信託証券組入比率は、当ファンドの追加・解約と有価証券売買の計上タイミングがずれること等により、一時的に100%超の数値となる場合があります。(以下同じ)

## 当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		ベンチマークロンドン貴金属市場協会 (LBMA) 金地金価格 (円ヘッジ、円換算ベース)	騰落率	投資信託 証券組 比率	純資 産額
		騰落率				
(期首) 2022年 9月 5日	円 9,375	% -	9,297	% -	100.8	
9月末	8,964	△4.4	8,947	△3.8	98.9	
10月末	8,891	△5.2	8,884	△4.4	99.2	
11月末	9,440	0.7	9,383	0.9	97.6	
12月末	9,707	3.5	9,659	3.9	92.2	
(償還時) 2023年 1月16日	(償還価額) 9,889.83	5.5	10,113	8.8	-	

(注1) 基準価額は1万口当たり。

(注2) 騰落率は期首比です。

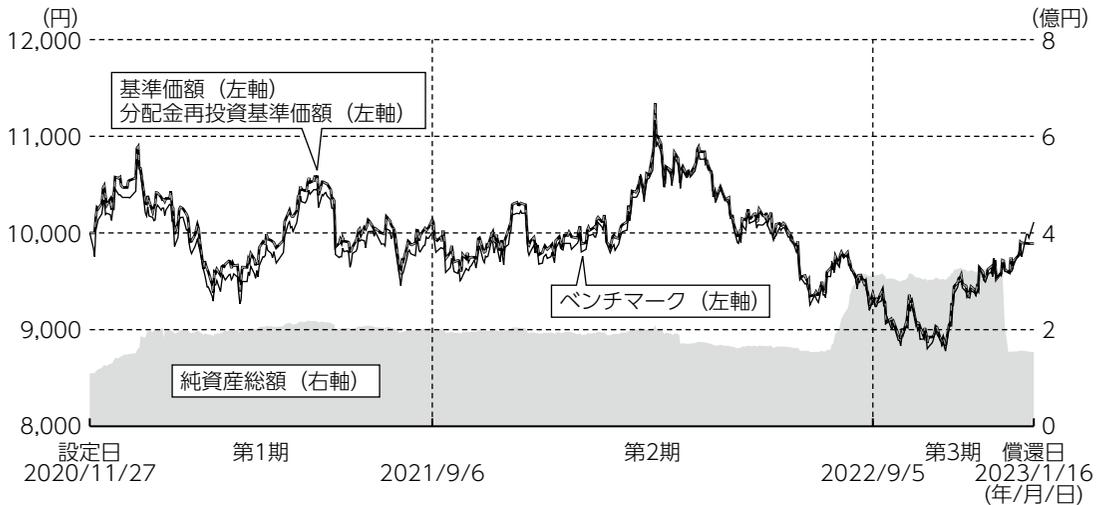
(注3) ロンドン貴金属市場協会 (LBMA) 金地金価格 (円ヘッジ、円換算ベース) は、ロンドン貴金属市場協会 (LBMA) 金地金価格 (米ドルベース) に基づき、委託会社において円ヘッジし円換算したものです。ベンチマークは設定日を10,000として指数化。

※ロンドン貴金属市場協会 (LBMA) 金地金価格はICE Benchmark Administration Limitedによってロンドン時間の午後に公表される金地金価格を指します。

## 運用経過

## 基準価額等の推移について

（2020年11月27日～2023年1月16日）



第3期首	:	9,375円
第3期末（償還日）	:	9,889.83円（既払分配金 0円）
騰落率	:	5.5%（分配金再投資ベース）

- (注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額およびベンチマークは、設定日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

基準価額は設定時の10,000円から、償還時には既払分配金 0円（税引前）込みで9,889.83円となりました。その結果、基準価額の騰落率（分配金再投資ベース）は、-1.1%となりました。

## ベンチマークについて

ベンチマークとは、ファンドの運用を行うに当たり、運用目標の基準あるいはパフォーマンスを評価するための基準です。なお、当ファンドのベンチマークは「ロンドン貴金属市場協会（LBMA）金地金価格（米ドルベース）」を委託会社において円ヘッジ円換算した「ロンドン貴金属市場協会（LBMA）金地金価格（円ヘッジ、円換算ベース）」です。また、当ファンドはベンチマークに概ね連動する投資成果を目指して運用を行います。

※ロンドン貴金属市場協会（LBMA）金地金価格はICE Benchmark Administration Limitedによってロンドン時間の午後公表される金地金価格を指します。

## 基準価額の主な変動要因

設定時に10,000円でスタートした基準価額は、既払分配金0円（税引前）込みで9,889.83円となり、その結果、基準価額の騰落率（分配金再投資ベース）は、-1.1%となりました。基準価額が下落したのは、信託報酬の負担や償還に向けた上場投資信託の売却タイミングなどのマイナス要因が、組入上場投資信託の価格上昇などのプラス要因を上回ったことによるものです。

## 投資環境について

### 第1期（2020年11月27日～2021年9月6日）

当期の金価格は、僅かに上昇しました。新型コロナウイルスワクチンの接種進展と経済活動の正常化期待などを背景に投資家心理が上向き中、有事の資産とされる金への需要が減退する局面もありました。一方で、米国におけるインフレ圧力の高まりに加え、新型コロナウイルスデルタ株の感染拡大を嫌気したリスク回避姿勢の再燃などが、金価格を下支えしました。

### 第2期（2021年9月7日～2022年9月5日）

当期の金価格は下落しました。期の前半、世界的なインフレ懸念の高まりを背景とした金需要の増大に加え、2022年2月にはロシアのウクライナ侵攻を受けて有事の安全資産とされる金を買われたことから、金価格は上昇しました。しかし期の後半は、米連邦準備制度理事会（FRB）が積極的な金融引き締めを実施し、米国金利が上昇した影響などにより金価格は反落しました。

### 第3期（2022年9月6日～2023年1月16日）

当期の金価格は、上昇しました。2022年終盤以降、米国のインフレ率のピークアウト観測や同国景気の悪化懸念などを背景に、米連邦準備制度理事会（FRB）が金融引き締めのペースを緩めるとの観測が広がったことなどが、金価格の上昇を後押ししました。

## ポートフォリオについて

### 当ファンドのポートフォリオについて

上場投資信託であるUBS ETF（CH）ゴールド（USD）およびUBS短期円金利プラス・ファンド（適格機関投資家向け）を投資対象とし、設定来より主として上記上場投資信託への投資を通じて、ロンドン貴金属市場協会（LBMA）金地金価格（円ヘッジ、円換算ベース）の騰落率に概ね連動する投資成果を目指しました。外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図りました。上記上場投資信託の組入比率は期初より高位を維持しましたが、2023年1月16日でファンドを繰上償還することとなったため、同年1月前半には売却、現金化を完了の上、償還日を迎えました。

## UBS短期円金利プラス・ファンド（適格機関投資家向け）のポートフォリオについて

UBS短期円金利プラス・マザーファンドへの投資を通じて、わが国のコマーシャル・ペーパーを含む短期金融商品および内外の円建ての公社債に投資を行い、利息等収入の確保を目指して運用を行いました。当期におきましては、利回りの優位性を勘案しつつ、コール・ローン等での運用を行いました。

### ベンチマークとの差異について

基準価額の-1.1%に対してベンチマークが+1.1%となり、基準価額の騰落率はベンチマークの騰落率を2.2%下回りました。基準価額の騰落率がベンチマークの騰落率を下回った主な要因は、信託報酬の負担のほか、償還に向けた上場投資信託の売却タイミングなどによるものです。

### 分配金について

第1期から第3期（償還期）に関しましては、基準価額水準および市況動向を勘案し、収益分配は行いませんでした。なお、第3期（償還期）までに信託財産中に留保されてきた利益につきましては、償還価額に含みお支払いいたしております。

## 1万口当たりの費用明細

項目	当期 2022/9/6~2023/1/16		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	9円	0.100%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額（月末値の平均）は9,250円です。
（投信会社）	（ 3）	（0.028）	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	（ 6）	（0.060）	運用報告書等各種書類の交付、口座内でのファンドに係る管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	（ 1）	（0.012）	運用財産の管理、運用指図実行等の対価
売買委託手数料	5	0.058	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
（投資信託証券）	（ 5）	（0.058）	投資信託証券を取引所で売買する際に売買仲介人に支払う手数料
その他費用	5	0.054	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	（ 2）	（0.018）	海外保管銀行等に支払う海外資産等の保管・送金・受渡等に係る費用
（監査費用）	（ 1）	（0.010）	監査法人等に支払うファンド監査に係る費用
（印刷費用等）	（ 2）	（0.022）	法定開示書類作成の際に業者に支払う作成・印刷・交付等に係る費用（EDINET含む）等
（その他）	（ 0）	（0.003）	海外の税務手続きに関する費用等
合計	19	0.212	

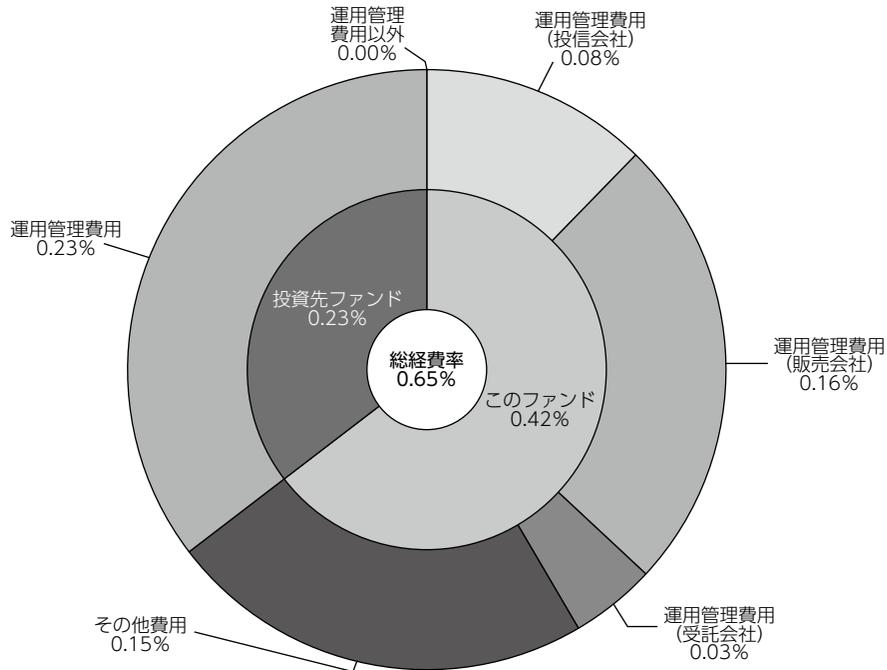
(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

## （参考情報） 総経費率



<b>総経費率 (①+②+③)</b>	<b>0.65%</b>
①このファンドの費用の比率	0.42%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.23%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00%

(注1) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) ②・③の費用は、当該投資先ファンドの期中の平均純資産総額で除して算出した概算値です。

(注3) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

(注5) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注6) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.65%です。

## 期中の売買及び取引の状況（自 2022年9月6日 至 2023年1月16日）

### 投資信託証券

	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
国内				
UBS短期円金利プラス・ファンド（適格機関投資家向け）	□ -	千円 -	□ 10,046	千円 9
外国				
UBS ETF (CH) ゴールド (USD)	□ 1,869	千米ドル 104	□ 42,643	千米ドル 2,502

(注1) 金額は受け渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切り捨て。

## 利害関係人等との取引状況等（自 2022年9月6日 至 2023年1月16日）

期中の利害関係人等との取引はありません。

(注) 利害関係人等とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人等です。

## 組入資産明細表（2023年1月16日現在）

償還時における有価証券等の組入はありません。

### (1) 国内投資信託証券（邦貨建）

フ ァ ン ド 名	期 首	
	□	数
UBS短期円金利プラス・ファンド（適格機関投資家向け）		□ 10,046
合 計		10,046

(注) 単位未満は切り捨て。

### (2) 外国投資信託証券（外貨建）

フ ァ ン ド 名	期 首	
	□	数
UBS ETF (CH) ゴールド (USD)		□ 40,774
合 計	□ 数 ・ 金 額	40,774
	銘 柄 数 <比 率>	1

(注) □数の単位未満は切り捨て。

## 投資信託財産の構成

(2023年1月16日現在)

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	千円 155,550	% 100.0
投 資 信 託 財 産 総 額	155,550	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨て。

## 資産、負債、元本及び償還価額の状況

(2023年1月16日現在)

項 目	償 還 時
(A) 資 産	155,550,462円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	155,550,462
(B) 負 債	1,492,814
未 払 解 約 金	1,113,900
未 払 信 託 報 酬	286,463
未 払 利 息	438
そ の 他 未 払 費 用	92,013
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	154,057,648
元 本	155,773,815
償 還 差 損 金	△ 1,716,167
(D) 受 益 権 総 口 数	155,773,815口
1万口当たり償還価額(C/D)	9,889円83銭

〈注記事項〉

期首元本額 335,771,928円  
 期中追加設定元本額 11,702,518円  
 期中一部解約元本額 191,700,631円  
 1口当たり純資産額 0.9889円  
 純資産総額が元本を下回っており、その差額は1,716,167円です。

## 損益の状況

(自2022年9月6日 至2023年1月16日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 4,937円
支 払 利 息	△ 4,937
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	8,545,136
売 買 益	59,062,966
売 買 損	△50,517,830
(C) 信 託 報 酬 等	△ 432,598
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	8,107,601
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 8,195,322
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 1,628,446
(配 当 等 相 当 額)	(△ 4,268)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 1,624,178)
償 還 差 損 金(D+E+F)	△ 1,716,167

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

## 投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2020年11月27日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2023年1月16日		資産総額	155,550,462円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託	負債総額	1,492,814円
				純資産総額	154,057,648円
受益権口数	110,000,000口	155,773,815口	45,773,815口	受益権口数	155,773,815口
元本額	110,000,000円	155,773,815円	45,773,815円	1万口当たり償還金	9,889.83円
毎計算期末の状況					
計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1万口当たり分配金	
				金額	分配率
第1期	201,563,994円	204,289,665円	10,135円	0円	0.0000%
第2期	335,771,928	314,792,522	9,375	0	0.0000

## 償還金のお知らせ

1万口当たり償還金	9,889円83銭
-----------	-----------

◇償還金は、2023年1月20日（金）までにお支払いを開始しております。

◇償還金が個別元本を上回る場合、上回る部分に20.315%（所得税15.315%、地方税5%）の税金がかかります。